

特集

こんな建築家賠償責任保険がほしい

日事連=「ケンバイは消費者を守るため。三会の保険を一つにまとめるべき」中川孝昭

建築士会=「割安な保険料で最高5億円補償」

JIA=「メニュー豊富だが、基本は滅失・き損への補償」

JSCA=「構造基準未達もカバー。最低保険料は20万円」

設備協会=「悲願の建築設備に特化した保険。だけども、加入率は20%以下」

アンケート=「ケンバイの良いとこ、悪いとこ教えてください」

「栃木県建築士事務所協会のケンバイ加入率50%超の理由」本澤宗夫

座談会「設計者は検査員が務まるか。建築の知識レベルを上げよ」

小杉卓・大川信行・下田能久・武田学・藤井克昌

「ケンバイも大切だけど、告示15号に示した設計料の支払いが先決」光井純

クローズライン

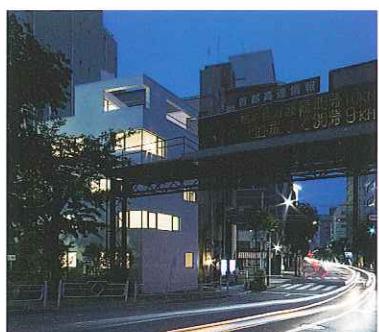
守る法律は
設計者の権利を
考えられるのか。

裁判が始まって間もない頃、裁判官が「コンペというのは営業行為じゃないんですか」という意味の発言が忘れられません。



ピュー・中川孝昭。

3つのケンバイがあること自体が不自然です。遡及継続が認められず、至っていない。時間を要するでしょうが、統一に向かうべきです(インタビュー・光井純)。ケンバイを語ることは大切なことですですが、建築家が安心して仕事に取り組めるように、国交省は告示15号で示す設計料の徹底を各省庁、地方自治体および民間に通達を図ることです(インタビュー・光井純)。



オープンハウス①

「はたのいえ」 — 山本想太郎

美しき構造設計の世界⑨ | 佐藤淳「オルセー美術館」

論評 | 貧困ビジネスを生む都市と住宅を問う=坂庭国晴

オピニオンの視線 | 建築・都市も「カボチャ」であれ=川原田徹
ジャーナルギャラリー |

異変! 携帯基地局建設後、住宅地の植物が奇形に